

授業科目名	教育相談の理論と方法	担当教員	嘱託講師 斎藤 渉		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義・演習	時間数	30	単位数	2
授業の目的（概要）					
<p>最近の学校の保健室には、体の問題以外の様々な困難（人間関係のトラブル、いじめ、教室に入れない、発達特性の課題、虐待、心身症等）を抱えた生徒たちがやってきます。その生徒たちにとって最も大事なことは、保健室が「こころの安全基地」として機能することです。そのためには、養護教諭が生徒たちのこころの傷を理解し、サポートできるかどうかの力量が不可欠になります。この授業では、目では見ることが出来ないその「こころ」に焦点を当てていきます。講義をはじめとして、イメージを多く取り入れた演習を加えることで「こころ」を実感し、さらにはグループシェアリングを通して各自の心の中に浸透していくことを目指します。</p>					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床心理学が対人援助において有効な方法であることを実体験を通して学ぶ。 2. 無意識の世界から発信するイメージ（夢、描画等）が人間のこころを理解するための有効な方法であることを学ぶ。 3. 人間のこころを理解する方法として心理検査が活用されていることを知る。 4. 対人援助にとって大事な人間のこころを理解するための面接技術を習得する。 5. 学生たちのこころが活性化するため、授業後にはグループシェアリングを実施する。 					
キーワード					
こころ、無意識、イメージ、対人援助、心理検査、体験、シェアリング					
授業の進め方					
講義、グループワーク、演習によってすすめる。 フェーズが上昇した場合、オンラインで実施する。					
成績評価の方法（合否基準）					
授業態度（5%）、出席日数、感想文（25%）、レポート試験（70%）等により総合評価する。					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
「臨床心理学」伊藤良子編著 ミネルヴァ書房 その他、授業中に配布する資料や視聴覚教材をもとに進める。					
オフィスアワー					
授業の前後					
モデル・コア・カリキュラムとの関連					
準備学修に必要な学修の時間					
各講義の中で指示します。					

授業計画

回	日程	時間	場所	授業内容	担当者
1	9/29	8:30~ 10:10	N12	臨床心理学は何を目指しているか？	斎藤
2	10/6	〃	〃	不登校とひきこもり(ビデオ)	斎藤
3	10/13	〃	〃	こころのしくみと働き方について考える	斎藤
4	10/20	〃	〃	「症状をもつ」とはどういうこと？	斎藤
5	10/27	〃	〃	「発達障害・知的障害をもつ」とはどういうこと？	斎藤
6	11/10	〃	N202	家族プレイ(演習)	斎藤
7	11/17	〃	N12	人間の心を理解するとはどういうこと？(アセスメント)	斎藤
8	11/24	〃	N202	描画を通して自分を知る(演習)	斎藤
9	12/1	〃	N12	臨床心理学的援助(カウンセリング)を実践するために	斎藤
10	12/8	〃	N202	カウンセリングの技法: 相手のところをとらえる面接の仕方(演習)	斎藤
11	12/15	〃	N12	子どもや青年の生きている世界と そこで生じる心理的問題・課題とは？	斎藤
12	1/12	〃	〃	転移・逆転移について	斎藤
13	1/19	〃	〃	絵画療法におけるイメージの流れ(ビデオ)	斎藤
14	1/26	〃	〃	夢について学ぶ	斎藤

備考